

オンラインで開講式と講義が行われたアグリ・カレッジ



高校生 最新研究学ぶ

2年ぶり大 弘前 アグリ・カレッジ開講

弘前

高校生を対象とする弘前大学農学生命科学部の「アグリ・カレッジ2021」が7日、開講した。今年度は県内12校から46人が受講し、農業に関わる最新の研究などをオンラインで学ぶ。

アグリ・カレッジは地域農業の担い手を育成する目的で2008年にスタートし、15年度からは農業系高校に限定していた対象を普通高校などに拡大。これまで215人が受講している。昨年度は新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされたが、今年度はオ

ンライン形式で実施する」ととした。

ビデオ会議システムを使って開講式が行われ、同大学の泉谷真実副学部長が「学んだ知識を活用し、一人一人が地域と弘大との懸け橋になってほしい」とあいさつ。続いて、分子生命科学科の高田晃准教授が「天然物化学への招待」化学の言葉を使って生物学を学ぶ」と題して講義を行い、学問としての天然物化学が生まれるまでの経緯や研究例などを紹介した。

この他、2回の講義が行われ、21日に残り3回の講義と閉講式が行われる。

(船越太郎)

上記の画像は、当該ページに限って”陸奥新報”が利用を許諾したものです。無断転載はできません。